

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度	R5年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)					
I-1- (1)-① 仕事と 子育て の両立 支援	1	③ ④ ⑧ ⑱	放課後児童ク ラブの管理運 営	こども若 者成 育課	子ども家 庭局 子育て 支援課	市民ニーズに応 えられる放課後 児童クラブの運 営内容を確保す るため、運営団 体に対する研修 会の実施、開設 時間の標準化や 延長の推進等 により、運営体 制の充実に努め る。また、障害 のある児童や高 学年児童を含め 利用者が増加す る中で、児童へ の対応を充実す るため、適切な 指導員数を配置 するとともに、 研修の充実、指 導員相互の交流 や情報交換、障 害のある児童な どの対応を支援 するための臨床 心理士等の巡回 派遣を行い、指 導員の資質向上 を図る。	放課後児童ク ラブの利用を希 望する児童の受 け入れ	目標	100 %	100 %	100% (毎 年 度)	2,419,000	2,677,265	2,479,528	50,750	順調	放課後児童ク ラブの登録児 童数はやや増 加している。 放課後児童ク ラブの待機児 童数の目標0人 を引き続き達成 し、児童の放課 後の居場所が 確実に確保でき ていることから 、「順調」と判断 。	順調	【評価理由】 保育所の増改築 を行い、入所定 員を拡充したこと で、保育需要に 対応することが でき、年度当初 及び10月時点 での待機児童数 0人を継続した。 放課後児童ク ラブにおいては 、待機児童数の 目標0人を引き 続き達成し、19 時まで開設して いるクラブの割 合は令和4年度 比で増加してい る。 新制度対象の幼 稚園及び認定こ ども園への移行 が増えており、 10月時点での 保育所待機児童 数0人を維持で きた。 以上のことから 、「順調」と判断 。 【課題】 放課後児童ク ラブに対する満 足度の向上向け 、利用者の利便 性向上のための 取組が必要。 引き続き教育・ 保育施設の利用 状況や利用者の 希望とともに、 事業者の意向な どを踏まえ、認 定こども園への 移行支援、普及 に努めることが 必要。 また、施設型給 付への移行を希 望する全ての幼 稚園が円滑に移 行できるよう、 必要な支援を 計画的に提供し ていく。 教育・保育施設 の利用状況や利 用者の希望とと もに、幼稚園、 保育所事業者の 意向などを踏ま え、幼稚園と保 育所の機能を併 せ持つ認定こど も園への移行支 援・普及に努め る。
								実績	100 %	100 %									
								達成率	100.0 %	100.0 %									
							放課後児童ク ラブに対する満 足度（開所日、 開所時間）	目標	前年度 (80.8%) 比向上	前年度比 向上	R1年度 比向上 (R6年 度)								
								実績	83.8 %	83.8 %									
								達成率	103.7 %	100.0 %									
	運営内容に関 する自己評価実 施クラブ率	目標	100 %	100 %	100% (毎 年 度)														
		実績	100 %	100 %															
		達成率	100.0 %	100.0 %															
	2	③ ④ ⑧	保育所運営事 業	こども施 設企 画課	子ども家 庭局 保育課	仕事と子育て の両立支援を推 進するため、保 育を必要とする 子どもは誰でも 保育所に入所 でき、多様なニ ーズに応えなが ら、子どもの健 やかな育成を支 援する保育サー ビスの実現を図 る。	保育所待機児 童数 (4月)	目標	0 人	0 人	0人 (毎 年 度)	12,985,214	12,514,989	13,142,751	5,800	順調	保育所の増改 築等による定員 増に取り組み、 年度当初及び1 0月時点での待 機児童数は0人 を維持した。 いずれの指標も 達成率100% であるため、「順 調」と判断。	順調	
								実績	0 人	0 人									
								達成率	100.0 %	100.0 %									
保育所待機児 童数 (10月)							目標	0 人	0 人	0人 (毎 年 度)									
							実績	0 人	0 人										
							達成率	100.0 %	100.0 %										

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
	3	③ ④ ⑧	幼稚園・認定 こども園運営 事業	こども 施設企 画課	子ども 家庭局 幼稚園 ・こども 園課	私立幼稚園（新 制度対象）や認定 こども園の運営費 を助成する。	保育所待機児童 数 （10月）	0人 （R1年 度）	目標 0人 実績 0人 達成率 100.0%	0人 0人 100.0%	0人 0人 100.0%	0人 （毎年 度）	9,409,735	11,836,384	11,393,047	5,400	順調	新制度対象の幼稚園及び認定こども園への移行が増えており、10月時点での保育所待機児童数0人を維持できていること、新制度対象の幼稚園への移行園数も目標を達成していることから、「順調」と判断。		
							施設型給付へ移 行する私立幼稚 園数	26箇所 （R1年 度）	目標 31箇所 実績 31箇所 達成率 100.0%	37箇所 37箇所 100.0%	希望園 の 全てが 移行 （R6年 度）									
I-1- （1）-② 年間を 通じた 待機児 童解消 策の推 進など 保育の 充実	4	③ ④ ⑧	一時預かり事 業	こども 施設企 画課	子ども 家庭局 幼稚園 ・こども 園課	「子ども・子育て 支援新制度」に より実施する一時 預かり事業におい て、保護者のニー ズに応じて教育時 間の終了後等に預 かり保育を実施す る私立幼稚園を支 援する。	事業（幼稚園 型）を実施する 施設数	63箇所 （R1年 度）	目標 前年度 （64箇所） 同水準 実績 64箇所 達成率 100.0%	前年度 同水準 64箇所 100.0%	60箇所 （R6年 度）	193,031	209,098	209,846	4,650	順調	一時預かり事業（幼稚園型）の実施園数は令和4年度と同数であり、希望する施設への助成はもれなく実施出来ていることから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 認定こども園への移行支援、一時預かり事業（幼稚園型）などを行い、希望する施設への助成はもれなく実施した。 また、保護者の働き方や地域の実情に応じた多様な保育を提供するため、延長保育や一時保育、障害児保育といった特別保育や、病児保育の無償化を行い、利用者の負担軽減を行ったほか、保育サービスコンシェルジュの一部増員による体制強化の維持により、市民サービスが向上した。 また、保育士保育所支援センターにおいて、対面による就職相談を実施し、実際の就職に結びついている。 以上のことから、「順調」と判断。	
	5	③ ④ ⑧	特別保育事業 補助	こども 施設企 画課	子ども 家庭局 保育課	保護者の就労形 態の多様化等に対 応するため、保育 所の保育時間を午 後7時もしくは8 時まで延長する「 延長保育」の充実 を図る。また、保 護者のパート就労 や育児フレッシュ 等の理由により、 一時的に家庭での 保育が困難となる 児童を保育所にお いて保育する「一 時保育」の充実を 図る。さらに、保 育所の通常保育に 加え、延長保育や 一時保育において も、集団保育の可 能な障害のある児 童の受け入れを行 う「障害児保育」 の充実を図る。	午後7時まで延 長保育を実施す る施設の割合	93.9% （R1年 度）	目標 前年度 （94.5%） 同水準 実績 93.9% 達成率 99.4%	前年度 同水準 95.3% 101.5%	現状値 と同水 準 （R6年 度）	537,194	623,720	555,151	3,650	順調	令和5年度の延長保育実施施設数は121箇所、一時保育実施施設数は70箇所であった。多様化する就労形態への対応として高い効果があったことから、「順調」と判断。		【課題】 年間を通じた待機児童の継続的な解消に向け、今後も、教育・保育の量の確保と質の向上及び保育士等の人材の確保が必要。	
							一時保育事業の 実施施設の割合	56.2% （R1年 度）	目標 前年度 （58.5%） 同水準 実績 58.1% 達成率 99.3%	前年度 同水準 61.9% 106.5%	現状値 と同水 準 （R6年 度）									

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）					
6	③ ④ ⑧		病児保育事業	こども施設企画課	子ども家庭局 保育課	保護者の勤務の都合、疾病、事故、出産及び冠婚葬祭など、やむをえない事由により家庭での保育が困難な病氣中、病氣回復期にある児童を医療機関併設型の施設において保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	病児保育施設利用者数	9,029人 (R1年度)	目標	前年度 (5,908人) 比増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	177,033	170,257	244,006	2,900	順調		
									実績	6,896 人	13,221 人								
									達成率	116.7 %	191.7 %								
7	③ ④ ⑧		保育サービス コンシェル ジュ事業	こども施設企画課	子ども家庭局 保育課	保育所、幼稚園や地域の子育て支援の事業等の利用について、情報の収集と提供を行うとともに、利用にあたり、子どもや保護者からの相談に応じるため、各区役所及び「ウーマンワークカフェ北九州」に保育サービスコンシェルジュを配置する。	保育所待機児童数 (4月)	0人 (R1年 度)	目標	0 人	0 人	0人 (毎年 度)	33,414	34,846	34,754	2,900	順調		
									実績	0 人	0 人								
									達成率	100.0 %	100.0 %								
							保育所待機児童数 (10月)	0人 (R1年 度)	目標	0 人	0 人	0人 (毎年 度)							
									実績	0 人	0 人								
									達成率	100.0 %	100.0 %								

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
	8	③ ④ ⑧	保育士等の確保	子ども家庭局 幼稚園・ こども園 課 子ども家庭局 保育課	子ども家庭局 幼稚園・ こども園 課	<p>待機児童の解消を図るため、下記の事業により保育士等の人材確保に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士就職支援事業（保育士資格取得見込の学生等を対象とした就職説明会・保育士の資格等を持っていて、現在、保育士の職に就いていない人を対象とした研修） ・保育士・保育所支援センター事業等（保育士の再就職支援や相談等による離職防止） ・幼稚園教諭免許状を有する者の保育士資格取得支援等事業（幼稚園教諭の保育士資格取得支援や幼稚園への就職支援等） ・予備保育士雇用費補助事業（年度当初に配置基準を超えて雇用した保育士の人件費の一部を補助） ・保育士宿舍借り上げ支援事業（市内保育所・認定こども園を運営する法人が保育士の宿舍を借り上げるための費用の一部を助成） ・若年層保育士に対する処遇改善事業（経験年数3年未満の職員の就職時準備金や賃金改善に要する費用の一部を補助） 	保育所待機児童数 （10月）	0人 （R1年 度）	目標	0 人	0 人	0人 （毎年 度）	98,236	122,398	105,325	15,100	順調	依然として、保育士の確保は難しい状況にあるが、就職成立件数はわずかに増加した。保育所待機児童数0人が達成できたことから、「順調」と判断。		
								実績	0 人	0 人										
								達成率	100.0 %	100.0 %										

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）		
I-1- (1)-③ 母子が 健康に 生活で きる環 境づく り	9	③	母子健康診査	子育て支援課	子ども家庭局 子育て支援課	妊婦や乳幼児の 疾病または異常の 発見および防止を 図り、健康を保持 増進させるため、 妊婦、乳幼児の定 期的な健診の機会 を提供する。 （妊婦健康診 査、B型肝炎母子感 染防止事業、先天 性代謝異常等検 査、乳児健康診 査、1歳6か月児健 康診査、3歳児健康 診査）	妊婦健診受診率	96.7% (R1年 度)	目標	前年度水準 (99.2%) を維持	前年度水準 を維持	R1年度 水準を 維持 (R6年 度)	766,899	847,163	724,414	3,615	順調	妊婦健診の受診率及び3歳児 健診の受診率は、高水準で推 移していることから、「順 調」と判断。	順調	【評価理由】 妊婦健診の受診率及び3歳児 健診の受診率割合は、高水準 を維持できており、母子の健 康管理に繋がっている。 子ども医療費支給制度を維 持し、引き続き経済面の支援 を行うことができた。 また、乳児家庭全戸訪問 （のびのび赤ちゃん訪問事 業）やわいわい子育て相談 （乳幼児発達相談指導事 業）、産後ケア事業や産婦健 診等を実施することで、妊娠 期から出産・子育て期まで切 れ目なく支援する仕組みが構 築できている。 なお、一般不妊治療につい ては令和4年4月に保険適用に なったことから助成を終了し たが、不育症に関しては、市 独自の取組として継続して実 施し、不安や経済的負担の軽 減を図れた。 以上のことから、「順調」 と判断。		
									実績	98.4 %	99.0 %										94.3 %	98.7 %
									達成率	99.2 %	100.6 %										100.4 %	104.7 %
10	③		子ども医療費 支給事業	子育て支援課	子ども家庭局 子育て支援課		子どもの健康の 保持と健やかな育 成を図るため、保 険診療に係る医療 費の自己負担額を 助成する。	医療費支給制度 の維持	—	目標	維持	維持	維持	3,131,275	3,217,000	3,687,133	12,300	順調	制度を維持し、経済面にお ける支援を行っていることか ら、施策に対する効果は高い と考え、「順調」と判断。	【課題】 子育ての孤立化を防ぎ、地 域での見守り体制を充実して いくために、今後とも関係機 関との連携が重要である。		
										実績	維持	維持									—	—
										達成率	—	—									—	—
11	③		すくすく子育 て支援事業	子育て支援課	子ども家庭局 子育て支援課	母子健康手帳の 交付、妊産婦乳幼 児なんでも相談、 母親学級、両親学 級、育児学級等の 母子保健教室、乳 幼児発達相談指導 「わいわい子育て 相談」、乳幼児健 診未受診者フォ ロー事業（児童虐 待予防事業）、そ の他母子保健に関 する事業を実施す る。	妊産婦・乳幼児 なんでも相談の 実施箇所	134箇所 (R1年 度)	目標	前年度水準 (129箇所) を維持	前年度水準 を維持	R1年度 水準を 維持 (R6年 度)	24,224	22,532	19,826	6,150	順調	妊産婦、乳幼児なんでも相 談の実施箇所数について、目 標を達成しており、身近な相 談場所として定着しているこ とから、「順調」と判断。				
									実績	130 箇所	130 箇所								100.8 %	100.0 %		
									達成率	100.8 %	100.0 %								100.8 %	100.0 %		

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）					
12	③		のびのび赤 ちゃん訪問事 業	子育て支 援課	子ども家 庭局 子育て 支援課	子育ての孤立化 を防ぎ、乳児の健 全な育成環境の確 保を図るため、生 後4か月までの乳 児がいるすべての家 庭を訪問すること で、子育て情報の 提供を行うととも に、さまざまな不 安や悩みを聞き、 支援が必要な家庭 に対して適切な指 導や支援、サービ ス提供に結びつけ る。また、うつ状 態等を早期に把握 し、きめ細かに支 援するため、全産 婦に産後うつを早 期に発見するため の質問票を用い て、支援する。	生後4か月まで の乳児家庭全戸 訪問の達成率	94.6% (R1年 度)	目標	前年度 (94.3%) 比増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	47,989	47,984	47,045	4,115	順調		
									実績	94.4 %	97.6 %								
									達成率	100.1 %	103.4 %								
13	③ ⑬		妊娠・出産・ 養育にかかる 相談・支援事 業	子育て支 援課	子ども家 庭局 子育て 支援課	若年の妊婦や産 後うつなど、養育 支援を必要とする 家庭に対し、訪問 指導員を派遣し、 家事を支援すると ともに、思いがけ ない妊娠等に悩む 女性に対する電話 相談等を実施す る。 また、多胎妊産 婦の育児等の負担 感や孤立感を軽減 するための支援を 行う。	養育支援ヘル パー実施	実施 (R1年 度)	目標	継続実施	継続実施	継続 実施 (R6年 度)	83,720	62,906	70,528	4,115	順調		
									実績	実施	実施								
									達成率	—	—								
14	③		一般不妊治療 費等助成事業	子育て支 援課	子ども家 庭局 子育て 支援課	医療保険が適用 されず高額な医療 費がかかる配偶者 間（事実婚を含 む）の不妊検査・ 治療に関する 費用を一部助成す る。	一般不妊治療及 び不妊検査・ 治療の費用助成 の実施	—	目標	実施	実施	継続 実施 (R6年 度)	37,017	1,919	337	4,115	順調		
									実績	実施	実施								
									達成率	—	—								

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）								
I-1-(1)-④ 子育ての不安 や悩みを軽減 する環境づく り	15	③	子育てに関する 情報提供の 充実	総務 企画 課	子ども家 庭局 総務 企画 課	子育て中の 人が、子ども の成長に合わ せた情報を タイムリーかつ 手軽に入手で きるよう、情 報誌の内容や、 情報提供方法 の充実を図り 、必要とする 市民に子育て の情報を的確 に届ける。 また、本市が 取り組んでいる 子どもの健全 育成や子育て 支援についての 成果や課題、 データを盛り 込んだ「子ども 家庭レポート」 を発行し、市 民や地域の担 い手に周知す ることで、地 域全体で子育 てを支援する 環境づくりの 一助とする。	「こそだて情 報」及び「子 ども家庭レポ ート」による 情報提供の実 施	発行 （R1年 度）	目標	発行	発行	発行の 継続 （毎年 度）	3,412	4,909	3,380	6,150	順調		順調	【評価理由】 「北九州市こそだて情報」による情報提供のほか、「親子ふれあいルーム」の継続した運営を行うことで、乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安の軽減に寄与した。 また、「子ども・家庭相談コーナー」や「子育て支援サロン“びあちえーれ”」では、子育て等に関する相談に応じ、関係機関と連携しながら、必要な対応を行う等、相談者の不安や負担感の軽減に寄与した。 以上のことから、「順調」と判断。 【課題】 情報提供内容の更なる充実 に努める必要がある。 また、利用者の多様化する ニーズに対応できるよう、 子育て世帯が抱えている様 々な課題を把握し、市民が 気軽に相談できるよう、 相談員等への研修等を引き 続き実施する必要がある。		
									実績	発行	発行										達成率	—
16	③ ⑪ ⑰		親子ふれあい ルーム運営事 業	こども若 者成育 課	子ども家 庭局 子育て 支援課	乳幼児を持つ 保護者の子育 てへの不安を 軽減し、親子 が気軽に集い 、交流、情報 交換、育児 相談等ができ るスペースを 区役所や児童 館などで運 営する。	親子ふれあ いルーム利 用者数 （乳幼児数）	31,889 人 （R1年 度）	目標	前年度 （20,764 人） 比増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 （R6年 度）	37,742	38,607	37,961	7,275	大変 順調		利用者数が令和4年度比 150.4%となり、乳幼児を 持つ保護者の交流や、子育 てへの不安軽減に寄与して いることから、「大変順調」と 判断。			
									実績	21,134 人	31,779 人									達成率	101.8 %	150.4 %
									達成率	101.8 %	150.4 %											

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)
17	③ ⑯		子ども・家庭 相談コーナー 運営事業	子育て支 援課	子ども家 庭局 子育て支 援課	各区役所に「子 ども・家庭相談 コーナー」を設置 し、子どもと家庭 に関するあらゆる 相談をひとつの窓 口で受け、ひとり 親家庭の自立支 援、DV被害者対 応、児童虐待等、 それぞれの相談に 応じた支援・対応 を行うとともに、 必要に応じて他の 機関のサービス・ 支援へとつなげ る。	子育ての悩みや 不安を感じる人 の割合（就学前 児童の保護者）	35.5% (R1年 度)	目標	前年度 (41.1%) 比減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年 度)	116,625	123,676	122,266	6,075	順調	子どもと家庭に関する様々 な相談を受け、内容に沿った 支援・対応を行い、必要に応 じて関係機関とも連携をとっ ている。これにより、相談者 の不安や負担感の軽減を図れ ていることから、「順調」と 判断。		
								実績	44.2 %	44.3 %										
								達成率	92.5 %	99.8 %										
							子育ての悩みや 不安を感じる人 の割合（小学生 の保護者）	41.6% (R1年 度)	目標	前年度 (44.4%) 比減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年 度)								
								実績	47.6 %	47.6 %										
								達成率	92.8 %	100.0 %										
18	⑤		子育て支援総 合コーディネ ーター事業	こども施 設企 画課	子ども家 庭局 保育課	「子育て支援サ ロン“ぴあちえ れ”」に子育て支 援総合コーデ ィネーターを配置 し、面接、電話や メールによる子育 てに関する相談の 対応を行い、必要 な関係機関との連 携、調整等の支援 を行う。 また、大学教授 や小児科医、保育 経験者等を講師に 招き、子どもの発 達や食育、遊び等 をテーマとした育 児講座の開催や絵 本の貸出を行い、 子育て支援の充実 を図る。	子育ての悩みや 不安を感じる人 の割合（就学前 児童の保護者）	35.3% (R1年 度)	目標	前年度 (41.1%) 比減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年 度)	13,874	13,942	14,268	4,150	順調	育児講座について、通常の 講座10回、少人数のミニ講座 15回、計25回実施した。 面談での相談件数が令和4年 度から減少したものの、子育 ての悩みや不安を感じる人の 割合は令和4年度比から微増に 留まっているため、「順調」 と判断。		
								実績	44.2 %	44.3 %										
								達成率	92.5 %	99.8 %										
							子育ての悩みや 不安を感じる人 の割合（小学生 の保護者）	41.6% (R1年 度)	目標	前年度 (44.4%) 比減少	前年度比 減少	R1年度 比減少 (R6年 度)								
								実績	47.6 %	47.6 %										
								達成率	92.8 %	100.0 %										

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題								
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度	R5年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)													
I-1- (1)-⑤ 特別な 支援を 要する 子育て 家庭へ の対応	19	① ③ ⑩	母子・父子福 祉センター運 営事業	子育て支 援課	子ども家 庭局子 育て支 援課	「母子・父子福 祉センター」にお いて、ひとり親家 庭や寡婦の生活上 の悩みや相談を受 けたり、仕事のた めに必要な知識 や技能を身につけ るための講座等を 無料で実施する。その他各種研修会や 催し等を行い、ひ とり親家庭等の生 活の安定、福祉の 向上を目指す。	母子・父子福祉 センターの延べ 利用者数	10,446 人 (R1年 度)	目標	前年度 (9,899人) 比増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	40,889	41,200	40,878	1,480	順調	センターの延べ利用者数に ついて、令和4年度と同水準を 維持し、ひとり親家庭等に自 立支援や就業支援等を行うこ とができたため、「順調」と 判断。	順調	【評価理由】 母子・父子福祉センターの 利用者数は令和4年度と同水準 を維持し、ひとり親家庭等に 自立支援や就業支援等を行う ことができた。 また、養育費確保サポート 事業では、公正証書作成等の 申請件数が令和4年度より増加 し、必要な支援が実施でき た。 被虐待児等に対し、家庭的 な環境と安定した人間関係の もとで、きめ細かなケアが期 待できる里親・ファミリー ホームの委託率が一定程度上 昇した。 また、地域小規模児童養護 施設を新たに3箇所開設し、入 所児童が小規模の落ち着いた 環境の中で、生活することが できた。							
									実績	10,245 人	10,201 人										29.4% (R6年 度)	2,992	3,010	2,971	20,950	やや 遅れ	里親制度について、市政だ よりや市公式SNSで発信した ことで、コロナ禍明けで来所 による相談が大きく増加した 令和4年度とほぼ同数の里親登 録相談件数であった。里親・ ファミリーホームの委託率は 増加しているものの、目標に 対する達成率が令和4年度を下 回ったため、「やや遅れ」と 判断。
									達成率	103.5 %	99.6 %										86.7 %						
20	③	里親制度・特 別養子縁組の 推進	子ども総 合セン ター	子ども家 庭局子 ども総 合セン ター	里親の新規開拓 や里親家庭の支援 等を通じて里親委 託を推進し、委託 率の向上を目指 す。 加えて、里親制 度と合わせた普及 啓発を行う等によ り、子どもにとっ て永続的に安定し た養育環境を提供 できる特別養子縁 組についても推進 する。	要保護児童に対 する里親・ファ ミリーホームの 委託率	23.0% (R1年 度)	目標	27.0 %	29.0 %	29.4% (R6年 度)	2,992	3,010	2,971	20,950	やや 遅れ	里親制度について、市政だ よりや市公式SNSで発信した ことで、コロナ禍明けで来所 による相談が大きく増加した 令和4年度とほぼ同数の里親登 録相談件数であった。里親・ ファミリーホームの委託率は 増加しているものの、目標に 対する達成率が令和4年度を下 回ったため、「やや遅れ」と 判断。	また、民間による子ども食 堂の実施箇所数が大幅に増加 し、地域や民間団体を主体と した子ども食堂の開設、安定 運営に向けたバックアップ体 制を構築した。 子どもの発達や育児に不安 のある保護者やその子どもに 対し、伴走型の支援を行い、 利用者満足度が目標を達成し た。 以上により、特別な支援を 要する子どもや家庭への対応 ができたことから、「順調」 と判断。									
								実績	23.4 %	24.8 %									111.1 %	130.0 %							
								達成率	86.7 %	85.5 %																	
21	③ ⑩	児童養護施設 等小規模化・ 高機能化等、 体制強化の推 進	子育て支 援課	子ども家 庭局子 育て支 援課	児童養護施設・ 乳児院・児童心理 治療施設・児童 自立支援施設・自 立援助ホーム・フ ァミリーホーム・ 里親において、保 護を要する児童に 係る必要な経費 を負担し、社会的 養護が必要な子 どもが、それぞれ の子どもにあった 生活環境で、健や かに生まれ、自立 できる社会環境 づくりを推進す る。	地域小規模児童 養護施設実施箇 所数	6箇所 (R1年 度)	目標	前年度 (9箇所) 比増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年 度)	2,861,317	3,056,630	3,042,713	12,825	大変 順調	令和5年度は、新たに3箇所 の地域小規模児童養護施設を 開設し、小規模の落ち着いた 環境の中で、入所児童が生活 することができた。 また、新たに2箇所の自立援 助ホームを開設し、入所児童 に対し、日常生活上の援助及 び生活支援などを行い、卒園 等の自立までの居場所、自立 支援に寄与した。 以上のことから、「大変順 調」と判断。	【課題】 特別な支援を要する子ども や家庭が必要な支援を受ける ことができる環境整備に引き 続き取り組み、市民や企業等 に対し周知を図る必要があ る。									
								実績	10 箇所	13 箇所																	
								達成率	111.1 %	130.0 %																	

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)					
22	① ③		養育費確保サ ポート事業	子育て支 援課	子ども家 庭局子 育て支 援課	公正証書作成に 係る手数料や養育 費立替に係る保証 契約を締結した場 合の保証料の助 成、養育費全般に ついての相談を受 けるアドバイザー を設置し、養育費 不払い解消を図 る。	公正証書作成、 保証料助成申請 件数	44件 (R3年 度)	目標	前年度 (44件) 比増加	前年度比 増加	R3年度 比 増加 (R6年 度)	3,406	3,600	3,851	1,480	大変 順調		
									実績	47 件	68 件								
									達成率	106.8 %	144.7 %								
23	③ ④		親子通園事業	こども施 設企 画課	子ども家 庭局保 育課	幼児期の子ども の発達や育児に関 して、不安や孤独 感を抱えている保 護者にとっては、 思いを共有し、気 兼ねなく安心して 親子で過ごせる場 所を提供する等、 伴走型の支援が必 要である。あそび や体験等を通じて 、子育ての楽し さや成長の喜びを 保護者が感じられ るよう保育所で継 続した支援を行 い、適切な施設へ の移行等の相談に 対応する。	利用者の満足度	100% (R1年 度)	目標	100 %	100 %	100% (R6年 度)	1,245	2,310	1,052	4,650	順調		
									実績	100 %	100 %								
									達成率	100.0 %	100.0 %								
24	③ ⑩		児童虐待防止 (子どもの人 権擁護) 推進 事業	子ども総 合セ ンター	子ども家 庭局子 ども総 合セ ンター	児童虐待の早期 発見及び被虐待児 童の迅速かつ適切 な保護を行うた め、関係機関との 連携強化を図り、 児童虐待の防止等 のために必要な 体制を整備すると ともに、関係機関 等の職員の研修を 行う。	児童虐待による 死亡事案の発生 件数	0件 (R1年 度)	目標	0 件	0 件	0件 (毎年 度)	38,803	30,702	28,764	91,500	順調		
									実績	0 件	0 件								
									達成率	100.0 %	100.0 %								

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
I-1- (1)-⑥ 地域など行政の連携・協働による子育て支援の推進	25	③ ④ ⑫	子ども食堂開設支援事業	こども若者成育課	子ども家庭局子育て支援課	さらなる「子ども食堂」の普及促進を目指すため、コーディネーターの配置や開設補助など、民間を主体とした「子ども食堂」の活動を支援する。	市内子ども食堂の実施箇所数（民間）	30箇所（R1年度）	目標 R1年度（30箇所） 比増加	実績 49 箇所	63 箇所	R1年度 比増加 （R6年度）	4,877	7,397	7,378	11,615	大変 順調	令和元年度比で開設数が33箇所増加した。 開設支援や運営支援等の補助金に加え、相談対応等のサポートがあることが開設数増加につながっていることから、「大変順調」と判断。	
	26	③ ⑫	ほっと子育てふれあい事業	子育て支援課	子ども家庭局子育て支援課	仕事の都合や子どもの軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子どもの預かりや送迎など、子育て支援サービスの充実を図る。	相互援助活動件数	7,569件（R1年度）	目標 前年度（6,088件） 比増加	実績 6,901 件	7,516 件	R1年度 比増加 （R6年度）	14,500	15,000	15,000	1,865	順調	活動件数は令和4年度より615件増加していることから、「順調」と判断。	
	27	③ ⑪ ⑫	みんなの子育て・親育ち支援事業	こども若者成育課	子ども家庭局子育て支援課	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	市内で活動する育児サークル等の団体数	440団体（R1年度）	目標 前年度（440団体） 比増加	実績 437 団体	438 団体	R1年度 比増加 （R6年度）	5,475	5,861	5,765	6,400	順調	子育てに関わる団体への補助件数は目標120件に対して119件の実績となっており、達成率99.2%と令和4年度比増となっている。 また、育児サークル等の団体数も令和4年度比増となっており、令和4年度よりも多くの団体で活動が継続されていることから、「順調」と判断。	順調
	28	⑤ ⑪ ⑫	赤ちゃんの駅登録事業	総務企画課	子ども家庭局総務企画課	官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを行う。	「赤ちゃんの駅」登録施設数	459施設（R1年度）	目標 前年度（512施設） 比増加	実績 529 施設	498 施設	R1年度 比増加 （R6年度）	963	1,305	1,084	4,400	順調	令和5年度に赤ちゃんの駅の登録事業の実施状況の調査を行い、事業終了している施設を名簿から削除したため、登録施設数は令和4年度比減となったが、事業は適正に運営されている。 また、本市発祥のシンボルマーク使用自治体は、令和4年度より1自治体増の81自治体となった。以上のことから、「順調」と判断。	【課題】 引き続き、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めることが必要。

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）								
32	④ ⑧		「ユースステーション」の運営	こども若者成育課	子ども家庭局青少年課	中学生・高校生を中心とした若者の活動拠点となり、社会参加準備のためのさまざまな活動を体験することができる施設として「ユースステーション」の運営を行う。	ユースステーションの利用者数	29,425人 (R1年度)	目標	前年度 (17,922人) 比増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年度)	45,774	45,774	45,774	2,900	大変 順調	利用者に居心地の良い空間、賑わい、活気を創出する主催事業の実施により、令和4年度比約14,000人の利用者増があったため、「大変順調」と判断。	北九州市「青少年の非行を生まない地域づくり」推進本部運営事業では、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げの影響もあり、検挙補導人員を表す非行者率は増加傾向であるが、少年補導委員によるパトロールの実施など、様々な施策を計画的に取り組むことができた。 以上のことから、「順調」と判断。			
									実績	40,927人	54,387人									650人 (R6年度)		
									達成率	228.4%	132.9%											
33	④ ⑧ ⑰		子ども・若者応援センター「YELL」の運営	こども若者成育課	子ども家庭局青少年課	不安定な雇用やニート（若年無業者）、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上で困難を抱えている子ども・若者が増加している。そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート（コーディネート）していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』において、自立を支援する。	「YELL」来所相談者の就業等実績（累計数） ※中期目標改訂（R5年度目標設定時）	481人 (R1年度)	目標	650人	650人	650人 (R6年度)	24,051	28,431	26,306	3,775	順調	就労体験参加者数は令和4年度を上回っており（R4:195人→R5:264人）、他機関と連携しながら取組を継続したことにより、就業等実績も着実に増加しているため、「順調」と判断。	【課題】 若者に対し、様々な社会参加の機会を提供することが必要。 また、引き続き非行防止等を重点的に取り組むことが必要。			
									実績	589人	623人											
									達成率	90.6%	95.8%											
34	④ ⑰		「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	こども若者成育課	子ども家庭局青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）	3.6人 (R1年)	目標	前年 (4.1人) 比減少	前年比 減少	R1年比 減少 (R6年)	20,752	26,488	20,349	15,950	やや 遅れ	少年補導委員による補導活動回数は令和4年度水準を大きく上回っており（R4:2,451回→R5:3,232回）、パトロールの実施など、様々な施策を計画的に取り組むことができた。 一方で、少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率は、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げの影響もあり、増加傾向にあることから、「やや遅れ」と判断。				
									実績	3.7人	4.6人											
									達成率	109.8%	75.7%											
									北九州市協力雇用主登録業者数	262社 (R1年度)	目標									前年度 (286社) 比増加	前年度比 増加	R1年度 比 増加 (R6年度)
											実績									288社	289社	
											達成率									100.7%	100.3%	

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題						
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）						決算額 （千円）					
I-1-(4)-③ 若者の 自立支 援	35	④ ⑧	若者のための 応援環境づく り推進事業	こども若 者成育課	子ども家 庭局青少 年課	不安定な雇用や ニート（若年無業 者）、不登校やひ きこもり等、雇用 情勢の悪化や経済 的格差の拡大、家 族や周囲との円滑 なコミュニケー ションの欠如など により、将来を見 通せない不安の中 で、社会生活を円 滑に営む上で困難 を抱えている子ど も・若者が増加し ている。そこで、 若者のための応援 環境づくりを推進 する。	子ども・若者応 援センター 「YELL」の相談 件数	2,900件 （R1年 度）	目標	前年度水準 （2,496件） を維持	前年度水準 を維持	R1年度 比 増加 （R6年 度）	1,441	1,803	1,012	5,525	順調	子ども・若者応援センター 「YELL」の新規相談件数が令 和4年度を上回った。 また、「北九州市子ども・ 若者支援地域協議会」の開催 等により、関係機関や団体、 地域等の情報共有・情報提供 が図れたため、「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 不登校状態の子どもに対し て、きめ細かな伴走支援を行 い、状況の好転（改善）が見 られた生徒数も概ね目標を達 成した。 「子ども・若者応援セン ター『YELL』」の来所相談者 の就業実績は、着実に増加し ている。 北九州市「青少年の非行を 生まない地域づくり」推進本 部運営事業では、新型コロナ ウイルス感染症の5類引き下げ の影響もあり、検挙補導人員 を表す非行者率は増加傾向で あるが、少年補導委員による パトロールの実施など、様々 な施策を計画的に取り組むこ とができた。 よって、社会生活を円滑に 営む上で困難を抱えている若 者に対し、自立を支援する環 境づくりを進めることができ たため、「順調」と判断。 【課題】 社会生活を円滑に営む上 で、困難を抱えている若者の 割合が増えており、今後も、 継続的な支援が必要。 また、引き続き非行防止等 を重点的に取り組むことが必 要。					
									実績	2,912 件	2,945 件														
									達成率	116.7 %	101.1 %														
36	④ ⑧	不登校状態の 子どもに寄り 添った次への 一歩応援事業	こども若 者成育課	子ども家 庭局青少 年課	不登校状態にあ る中学生を対象 に、卒業後に孤立 することがないよ う、訪問支援等 を通じて一人ひと りに寄り添った伴 走型支援を行う。	伴走支援を行っ た結果、改善が 見られた人数	14人 （R1年 度）	目標	前年度水準 （46人） を維持	前年度水準 を維持	R1年度 比 増加 （R6年 度）	14,361	17,287	17,243	5,525	順調	専門スタッフによる、子ど もたち一人ひとりの状況に応 じたきめ細やかな支援を行っ た結果、状況の好転（改善） が見られた生徒数も概ね目標 を達成したため、「順調」と 判断。	順調	【課題】 社会生活を円滑に営む上 で、困難を抱えている若者の 割合が増えており、今後も、 継続的な支援が必要。 また、引き続き非行防止等 を重点的に取り組むことが必 要。						
								実績	65 人	62 人															
								達成率	141.3 %	95.4 %															
37	④ ⑧ ⑰	子ども・若者 応援センター 「YELL」の運 営	こども若 者成育課	子ども家 庭局青少 年課	不安定な雇用や ニート（若年無業 者）、不登校やひ きこもり等、雇用 情勢の悪化や経済 的格差の拡大、家 族や周囲との円滑 なコミュニケー ションの欠如など により、将来を見 通せない不安の中 で、社会生活を円 滑に営む上で困難 を抱えている子ど も・若者が増加し ている。 そのため、困難 を抱える子どもや 若者を総合的にサ ポート（コーデ ィネート）してい く総合相談窓口『子 ども・若者応援セ ンター「YELL」』 において、自立を 支援する。	「YELL」来所相 談者の就業等実 績（累計数） ※中期目標改訂 （R5年度目標設 定時）	481人 （R1年 度）	目標	650 人	650 人	650人 （R6年 度）	24,051	28,431	26,306	3,775	順調	就労体験参加者数は令和4年 度を上回っており（R4:195人 →R5:264人）、他機関と連携 しながら取組を継続したこと により、就業等実績も着実に 増加しているため、「順調」 と判断。	順調	【課題】 社会生活を円滑に営む上 で、困難を抱えている若者の 割合が増えており、今後も、 継続的な支援が必要。 また、引き続き非行防止等 を重点的に取り組むことが必 要。						
								実績	589 人	623 人															
								達成率	90.6 %	95.8 %															

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)					
38	④ ⑪ ⑰		「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	子ども若者成育課	子ども家庭局青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）	3.6人 (R1年)	目標	前年 (4.1人) 比減少	前年比 減少	R1年比 減少 (R6年)	20,752	26,488	20,349	15,950	やや遅れ		
									実績	3.7 人	4.6 人								
達成率	109.8 %	75.7 %																	
						北九州市協力雇用主登録業者数	262社 (R1年度)	目標	前年度 (286社) 比増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年度)								
								実績	288 社	289 社									
								達成率	100.7 %	100.3 %									
II-1-(3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	39	④ ⑪ ⑰	「北九州市『青少年の非行を生まない地域づくり』推進本部」運営事業	子ども若者成育課	子ども家庭局青少年課	「Ⅰ非行防止対策」「Ⅱ非行からの『立ち直り』支援」「Ⅲ薬物乱用の防止と啓発」「Ⅳ地域団体・関係機関との連携強化」の4つの柱をたて、就労支援の取り組みを強化するなど、青少年の非行防止施策を総合的かつ積極的に展開する。	少年人口1,000人あたりの検挙補導人員を表す非行者率（暦年統計）	3.6人 (R1年)	目標	前年 (4.1人) 比減少	前年比 減少	R1年比 減少 (R6年)	20,752	26,488	20,349	15,950	やや遅れ		
									実績	3.7 人	4.6 人								
達成率	109.8 %	75.7 %																	
						北九州市協力雇用主登録業者数	262社 (R1年度)	目標	前年度 (286社) 比増加	前年度比 増加	R1年度 比増加 (R6年度)								
								実績	288 社	289 社									
								達成率	100.7 %	100.3 %									

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度	R5年度	中期 目標	決算額 (千円)	予算額 (千円)	決算額 (千円)							
II-3-(1)-④ 子どもの人権の尊重	40	③ ⑩	児童虐待防止（子どもの人権擁護）推進事業	子ども総合センター	子ども家庭局子ども総合センター	児童虐待の早期発見及び被害児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修を行う。	児童虐待による死亡事案の発生件数	0件 (R1年度)	目標	0件	0件	0件 (毎年度)	38,803	30,702	28,764	91,500	順調	順調	【評価理由】 児童虐待の発生予防・早期発見のため、関係職員に対する研修会を実施するなど関係機関との連携強化を図った。 また、児童虐待対応向上のための教育研修を実施し、児童虐待対応の体制づくりを進めた。 子ども・家庭相談コーナーでは、子どもと家庭に関する様々な相談を受け、内容に沿った支援・対応を行い、必要に応じて関係機関との連携により、相談者の不安や負担感の軽減を図れている。 ヤングケアラー相談支援窓口では、必要な対応を行う等、相談者に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や悩みを軽減することができた。 ヤングケアラー支援訪問事業を実施することで、子どもの健全育成、児童虐待防止につながる仕組みがうまく機能している。 以上のことから、「順調」と判断。		
	41	③ ⑩ ⑰	児童虐待防止医療ネットワーク事業	子育て支援課	子ども家庭局子育て支援課	児童虐待の早期発見、早期対応につなげるため、中核的な小児救急病院等に児童虐待専門コーディネーターを配置し、地域の医療機関からの児童虐待対応に関する相談への助言を行うなど、医療機関を中心としたネットワークを構築し、児童虐待対応への必要な体制整備を行う。	拠点病院への児童虐待相談対応件数	534件 (R1年度)	目標	前年度水準 (849件) を維持	前年度水準 を維持	RI年度 比維持 (R6年度)	5,371	5,444	5,251	2,240	順調	順調	【課題】 児童虐待の早期発見、早期対応、また発生予防に努め、迅速かつ適切に対応することはもとより、虐待を受けた子どもの心のケアや虐待を行った保護者等への再発防止策の対応が喫緊の課題である。 子どもと家庭に関する相談は増加傾向にあり、またその内容は複雑化していることから、ニーズに応じた研修を行い、相談員の資質の向上を図る必要がある。 また、ヤングケアラーは発見しづらいといった課題があるため、今後も積極的に学校への訪問（アウトリーチ）や周知啓発を行い、早期発見、支援につなげていく。		
	42	③ ⑩	子ども・家庭相談コーナー運営事業	子育て支援課	子ども家庭局子育て支援課	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、ひとり親家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげる。	コーナーの児童虐待対応件数	537件 (R1年度)	目標	—	前年度 (779件) 比減少	RI年度 比減少 (R6年度)	116,625	123,676	122,266	6,075	順調	順調	子ども・家庭相談コーナーでは、子どもと家庭に関する様々な相談を受け、内容に沿った支援・対応を行い、必要に応じて関係機関とも連携をとっている。これにより、相談者の不安や負担感の軽減を図れていることから、「順調」と判断。		
								実績	0件	0件	0件								達成率	100.0 %	100.0 %
								達成率	—	—	—								達成率	—	118.0 %

令和5年度 行政評価の取組結果（子ども家庭局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題					
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）				
43	③ ④ ⑯		ヤングケア ラー相談支援 事業	子育て支 援課	子ども家 庭局子 育て支 援課	ヤングケアラー の早期発見・支援 のため、ヤングケ アラアラー等からの相 談に対応し、必要 に応じて関係機関 につなぐとともに、 アウトリーチによ る学校等との連携、 ヤングケアラーへ の支援、広報・啓 発等を行う。	ヤングケアラー に関する相談対 応件数	R4年度 相談対 応件数	目標	相談対応 開始	前年度比増 加	R4年度 比増加 （R6年 度）	9,968	14,000	13,999	2,240	順調							
									実績	349 件	346 件									達成率	—	99.1 %		
44	③ ④ ⑯		ヤングケア ラー支援訪問 事業	子育て支 援課	子ども家 庭局子 育て支 援課	ヤングケアラー となっている子ども やその家族の負担 軽減や子どもの健 全育成、児童虐待 防止を図るため、 ヤングケアラーが いる世帯に対し、 家事や育児支援 を実施する。	ヤングケアラー がいる世帯への ヘルパー派遣実 施	実施 （R5年 度）	目標	ヘルパー派 遣開始	継続実 施 （R6年 度）	—	5,000	38	2,240	順調								
									実績	実施	達成率								—					
IV-3- (2)-② 女性が 活躍す る産業 都市づ くりの 推進	45	③ ④ ⑧	特別保育事業 補助	こども施 設企画 課	子ども家 庭局保 育課	保護者の就労形 態の多様化等に対 応するため、保育 所の保育時間を午 後7時もしくは8 時まで延長する「 延長保育」の充実 を図る。また、保 護者のパート就労 や育児リフレッシュ 等の理由により、 一時的に家庭での 保育が困難となる 児童を保育所にお いて保育する「一 時保育」の充実を 図る。さらに、保 育所の通常保育に 加え、延長保育や 一時保育においても、 集団保育の可能 な障害のある児童 の受け入れを行う 「障害児保育」の 充実を図る。	午後7時まで延 長保育を実施す る施設の割合	93.9% （R1年 度）	目標	前年度 （94.5%） 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 （R6年 度）	537,194	623,720	555,151	3,650	順調							
									実績	93.9 %	95.3 %									達成率	99.4 %	101.5 %		
							一時保育事業の 実施施設の割合	56.2% （R1年 度）	目標	前年度 （58.5%） 同水準	前年度 同水準	現状値 と同水 準 （R6年 度）												
									実績	58.1 %	61.9 %													